

# 光寿

7月号  
2010  
(第52号)

## 新仏六柱を悼み

### 尼講法会営まれる

緑の木立を涼しい風が吹き抜けていく季節となりました。尼講の法会が六月十三日九時三十分より、いかるぎ館で行われました。常称寺、西慶寺、宮森の南桂寺さんをお招きして読経のあと法話がありました。

今回の物故者の方は中神喜世様(寶慶院釈尼浄香)・林みさい様(良徳操道大姉位)・林みさゑ様(明願院釈尼妙教)・林もとゑ様(海徳院釈尼妙善)・林よしい様(香華院釈尼妙心)・林ふで様(至誠院釈尼妙浄)の六柱の方々でした。改めてご冥福をお祈りいたします。



尼講

公民館、般老連、高齢者学級共催の第二十四回地域巡りが、六月十九日、約六十名が参加して行われました。

## 第二十四回 地域巡り

今回は柳瀬地区を訪ねました。まず昨年度のうるおい環境とやま賞を受賞した遊心亭。ここは屋敷林に囲まれた吾妻建(アズマダチ)と呼ばれる伝統的家屋を改修、保存し、ユニゾンの研修所として利用されているもので、控えめな外観に比べ、建物内部は豪壮で質の高い材料がふんだんに使用されています。そのあと約五百年前に開山された西城山萬遊寺に行き、住職から寺の縁起などを聞きました。寺は昭和三十五年火災で失われましたが、五年後本堂が再建されました。さらに延喜式内比賣神社、婦人の家などを回り、それぞれ関係者から説明を聞きまし。当初予定された佐藤助九郎邸が都合で見られなくなつたのは少し残念でした。



遊心亭の庭の一部

萬遊寺の鐘撞堂



## 第24回地域巡り

吾妻建の遊心亭にて

季節のうた  
杖となる傘持ち歩く梅雨のころ  
林 香月子

## 神明社跡地に石碑

三五九号バイパス横に

昭和十一年に林神社に合祀されるまで、神明社の祠があった場所に新しい碑が建立されました。かつて頼成地内には現在の林神社のほか三つの小さな神明社がありました。これを合わせて護持するため、大正三年、氏子総代開田助七郎、坂東久作、八田長左衛門、林貞吉、齊藤才一郎、林庄造ら六人と神明社林文信の連名で、当時の富山県知事濱田恒之助に願状を提出、以後曲折を経て昭和十一年一月二十六日合祀が実現しました。



## 市老連の健康体験教室に参加

市老連が主催する健康体験教室が、六月十一日、庄川の市健康センターで開催され、光寿会から十人の会員が参加しました。血圧測定や脈拍などを測つたあと、座位ステッピングや開眼片足立ち、温水プールでの健康運動などで健康作りへの関心を深めました。

## 木 嶋

多くの国民の期待を裏切つて鳩山さんが退陣されました。低迷する景気、低下する国際的地位、混乱する沖縄普天間の基地問題、政治と金の問題、拡大する口蹄疫への対応、お先真っ暗の拉致問題などなど、難問山積の船出ですが、どれも一刻の猶予も許されない問題ばかりで、新総理には果敢な決断力を発揮して事に当たってほしいものです。ところで日本に内閣制度が発足してから今年で百二十五年になりました。この間、総理大臣が九十四代変わったわけですが、同一人物で二、三次と内閣を作った総理は一人もありません。菅さんには東京出身で五人目の総理ですが、出身県別で一番多いのは山口県の八人、岩手県が東京に次いで第三位の四人を送り出しています。北陸三県でもお隣の石川県が三人(三十三代林統十郎、三十六代安倍信行、八十五代森喜朗)、福井県が一人(三十一代岡田啓介)総理を出していますが、残念ながら富山県からはいまだに一人の総理も出ていません。正力さん、松村さん、綿貫さんなど大物政治家もいたのですがねえ。

# 「金の水」「銀の水」「銅の水」

◆ 一日一、四リットルの水を飲みましょう。

◆ 「寝る前の一杯」は金の水  
寝ている間は水分が補給されない。血液が濃縮され、ドロドロになりやすい。脳梗塞等が起こりやすい。

◆ 「朝起きたときの一杯」は銀の水  
朝は最も血液の粘度が高い。血圧の高い人は脳卒中に注意。消化器系は水を求めています。

◆ 「食事の前の一杯」は銅の水

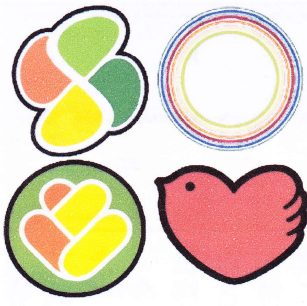
消化器系、特に胃の粘液に刺激を与え、胃の働きをスムーズにします。

※水と水分とは違います。ビール、スポーツドリンクなどは「水」ではありません。

県老連のリーダー研修会における講演の中で、印象に残った一コマを書いてみました。

光寿会副会長 坂東国香

## 四案が候補作品に新「もみじマーク」



昨年九月号でも報じましたが、落ち葉マークとか枯れ葉マークなどと揶揄され不評だった高齢運転者標識「もみじマーク」に替わる新しいデザインが公募されていました。このほど四案が候補として選ばれました。応募総数は一万四千五百七十三点にのぼり、その中から選ばれただけになかなかの名案が揃っています。

右 上 さまざまな人生を表現する色とりどりの線が丸く柔らかい円を描いている様子  
右 下 鳥・ハート・手のモチーフを圖案化  
左 上 四つ葉のクローバーとシニアの「S」の組み合わせ

## ～日帰り旅行 収支報告書～

5月26日実施の光寿会日帰り旅行の収支を下記の通りご報告致します。

### 収入の部

項目	金額(円)	備考
参加費	228,500	男性:17名x6,000円=102,000円 女性:23名x5,500円=126,500円
補助	17,402	光寿会より補助
合計	245,902	

### 支出の部

項目	金額(円)	備考
旅行代金		ホテル嵐山への支払い明細は次の通り
料理代	200,000	5,000円x40名(送迎バス、カラオケはサービス)
飲物代	26,250	酒、ビール、お茶
清酒買取り代	▲3,600	持ち込み酒(3升)の買取り値引き(1,200円x3)
写真代	1,000	集合写真1枚購入
(小計)	(223,650)	
見学代	12,160	立山カルデラ砂防博物館
車内お茶・菓子代	10,092	スパーセーター シマヤ
合計	245,902	

\*在庫の清酒3升を持ち込み消費しました。

左下 稲穂の実とハートを支える手のひら  
警察庁では変更の是非も含めて意見を募集し、七月中には新しいマークを決めることになっています。あなたはこのマークが良いと思われませんか。

## バイパス・通学路交差点に 手押し式信号機が設置されました



新設の三五九号線 砺波東バイパスが庄東小学校の通学路を横断したため、安全面での心配がされていましたが、このほどこの交差点に手押し式

の信号機が設置されました。これで登下校時の児童の安全が確保され、安心して

### △会員の慶弔

弔事 齊籐 實子様

六月二二日死去  
享年数え年九十一歳

齊籐 廉治様

六月十七日死去  
享年数え年八十七歳

謹んでご冥福をお祈りします

## 7月行事予定

- ★ 1日 定例役員会
- ★ 5日 健康管理事業
- ★ 8日 市老連女性リーダー研
- ★ 21日 らんじょ浮世亭

## らんじょ浮世亭だより

6月のらんじょ浮世亭は、大画面ビデオシアター「世界の光 親鸞聖人」の第三部を鑑賞しました。

一向念仏の教えを説く法然上人、親鸞聖人たちが、権力側の弾圧を受けて、法然上人が土佐に、親鸞聖人が越後に流罪になる経緯と、親鸞聖人の法友である安楽坊と住蓮坊が無実の罪で死罪になったわけや、後年勅許を得て罪を解かれるものの、師法然上人の死を知り、京には戻らずそのまま関東に赴いて、その地で布教を始めるまでの親鸞聖人のことがよく分かりました。お昼時、北條会長さんのお世話で豆腐田楽を作って、みんなで賞味しました。

午後は恒例の仏説阿弥陀経読誦のあと、蓮如上人のお文(御文章)の書写第三回として、信心獲得の章を書写しました。

今回は 7月21日

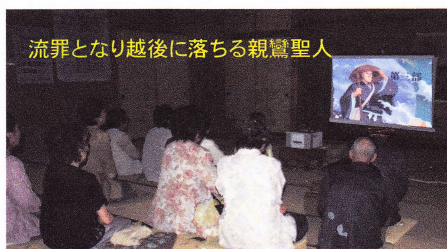
(第三水曜日)です

大画面ビデオシアター「親鸞聖人 第四部」を上映します。

親鸞聖人が四十歳ごろ～六十歳ごろ、石を枕に雪をしとねにしながら、関東地方で迷信邪教と戦いつつ、真宗の布教に尽くされる様子がよく分かります。



豆腐田楽を作っています



流罪となり越後に落ちる親鸞聖人



心静かに御文章の書写